

連合山形2014「平和行動 in 広島・長崎」活動報告

連合は、6～9月を「全国平和運動強化期間」として取り組みを行っていますが、8月4日～6日の日程で、連合山形より「広島平和集会」には、13名が参加し、「核兵器の廃絶」と「恒久平和」を誓い、連帯活動を行いました。

引き続き、8月8日～9日開催の「長崎平和集会」には、連合北西村山地域協議会 水澤事務局長が参加し、「願う」平和から「叶える」平和を願い、連帯の活動を行いました。

【広島平和集会】

8月5日（火）

- (1) 「原爆死没者慰霊碑」献花（広島市平和記念公園 原爆死没者慰霊碑前）
- (2) 「平和首長会議との懇談」
- (3) 「ピース・ウォーク」（広島平和記念公園（原爆ドーム前・各モニュメント））
- (4) 「被爆路面電車乗車学習会」（広島電鉄広島駅～広島港～原爆ドーム前）
- (5) 「連合 2014 平和ヒロシマ集会」
～核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めて～
（広島市文化交流会館 広島文化学園 HBG ホール）
- (6) 「平和の光」（広島平和記念公園（原爆ドーム前））

8月6日（水）

- (1) 「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」（広島市主催）
（広島市平和記念公園）
- (2) 「長崎平和の鐘」打鐘式（広島市立大学構内）

参加者

	氏名	所属		氏名	所属
1	あへまさる 阿部 善	連合酒田飽海地協（情報労連）	7	しかまともほ 鹿間 知歩	連合北西村山地協（県教組）
		N T T 労組東北支部山形分会酒田支部			寒河江市立三泉小学校
2	さとうおさむ 佐藤 修	連合酒田飽海地協（自治労）	8	わたなべけんいち 渡邊 賢一	連合北西村山地協（自治労）
		遊佐町職労			山形県職員連合労組西村山支部
3	うえのまさる 上野 賢	連合鶴岡田川地協（U A ゼンセン）	9	やまぐちみのる 山 口 稔	連合山形地協（フード連合）
		松文産業労組鶴岡支部			J T ニフコ山形労組
4	ふじたともひろ 藤田 智広	連合鶴岡田川地協（電力総連）	10	ひやまかつひと 檜 山 勝一	連合山形地協（自治労）
		東北電力労組庄内支部			天童市職労
5	ちゅうばちてつや 中鉢 徹也	連合新庄最上地協（電機連合）	11	ありのよしはる 有野 良治	連合置賜地協（J A M）
		山形航空電子労組			かわでん労組
6	さとうれいこ 佐藤 玲子	連合新庄最上地協（自治労）	12	さいとうかつひろ 齋藤 勝弘	連合置賜地協（電機連合）
		真室川町職労			N E C インベテクトテクノロジ-労組
			13	たかはしただかつ 高橋 忠勝	連合山形

参加者よりの感想

8月4日から6日までの3日間、連合平和行動 IN 広島に参加させていただき、私にとってはまさに「衝撃的」な時間でした。

2日目に訪れた平和記念公園において、連合広島の方々より原爆投下時の惨状や公園内にある平和を願う建造物や慰霊碑についてのお話を伺い、何とも言えない気持ちになりました。

特に印象深かったのは「平和記念資料館」で流されていた、原爆の放射能による後遺症に苦しめられた二人の男女が、時間の経過とともにどのような症状を発症していったかを記録した映像です。原爆は爆風や熱線を免れたとしても、放射能によって苦しめられる本当に恐ろしい兵器であるということを如実に表し、核兵器は廃絶すべきものであることを改めて強く認識させられました。

今回の貴重な経験を踏まえ、日本が再び誤った道に進まないよう、私たちがこれからできること、すべきことを考えていきたいです。

最後に、今回平和行動に参加させていただきありがとうございました。

連合山形地域協議会（天童市職労） 檜山勝一



【長崎平和集会】

8月8日（金）

- (1) 「平和首長会議との懇談」
- (2) 「連合 2014 平和ナガサキ集会」
～核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めて～
(長崎県立総合体育館・メインアリーナ)

8月9日（土）

- (1) 「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」(長崎市主催)
(長崎市平和公園)
- (2) 「ピース・ウォーク」(原爆落下中心地公園・長崎市平和公園)
- (3) 「万灯流し」(原爆殉難者慰霊奉賛会主催・連合協賛)
(浦上川、長崎市営陸上競技場)

参加者よりの感想

8月9日前後の3日間、平和行動in長崎に参加させて頂いた。

69年前8月9日午前11時2分長崎上空で「ファットマン」が炸裂した。歴史上2度目の原爆である。8日に開催された連合平和集会では、長崎の惨状を語った、体験者の思いは、三度この惨状にしてはいけない。69年間語り続けて思いを言葉にし、そして世界の人々に伝えたいとの思いを強く感じた。「忘れて行くのが人の業ならば、記憶に留めて如何に活かすかは人間の知恵である。」翌日は、長崎市平和祈念式典が行われ、長崎市長の「核兵器を廃絶し平和な社会をしっかりと築く」との言葉があった。そして、被爆者からの訴えでは、ハプニングが起き、翌日の新聞には「抑えきれない怒りの行方」として紹介されていた。

今集会に参加をさせて頂き、改めて核兵器の悲惨さを突きつけられ、戦争を知らないのではなく、学ぼうとしない自らの姿勢に気付かされた集会でした。

連合山形北西村山地域協議会 水澤孝秀

